

ブラッセル日本人学校における新型コロナウイルス感染症への対応について（第七報）

向暑の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申しあげます。日頃から本校教育活動の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて日本でも新型コロナウイルス感染症への対応について、様々な出口戦略が検討され具体的な方策が示され始めています。重要な点は、引き続き万全の感染症対策を講じながら、同時に、社会全体が長期間にわたり、この新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならないという認識に立ちながら同時に、子供たちの健やかな学びを保障することの重要性が示されたことにあります。このことは、ここベルギーにおいても同様です。

ベルギーにおいては5月6日の国家安全保障会議後、ウィルメス首相による記者会見の内容から、公共精神と責任感に期待するとしながら、具体的な出口戦略が提示されました。

5月11日のベルギー公衆衛生省発表にともなう記者会見によりますと、学校での授業再開について（ア）5月18日から生徒数や授業数が限られた中で授業再開が予定されているが、科学的根拠に基づき、保護者と教職員は安心してほしい。子どもたちは感染しても軽度の症状しか示さず、大部分は無症状である。（中略）ベルギー小児医学協会コロナ・タスクフォース（la taskforce pediatrique belge pour le covid-19）は授業再開についての見解を表明しており、子どもの医学上のリスクが限定的である点、及び子どもにとっての教育上及び心理社会面での利点の観点から、授業再開を支持すると述べている。なお、スウェーデン等では授業停止はそもそも行っておらず、仏・蘭・独等の周辺国では現在、授業を一部再開し始めている最中である点も強調したい。という見解を示しています。

こういったことから、5月18日よりフェーズ2に移行し、このまま順調に複数の基準において良好な傾向を示す場合フェーズ3で日帰り旅行なども検討されていくということになっています。

本校としては、これまでの「ブラッセル日本人学校における新型コロナウイルス感染症への対応について（第一報～第六報）」に示しましたとおりに対応して参ります。

今回第七報におきましては、本校における出口戦略にともなう今後の対応についてお知らせ致します。

今後も、常に関係機関と連携し正しい情報の収集に努めながら状況の変化に即時対応することを心がけて参ります。これまで通り、ブラッセル日本人学校の関係者として矜持をもって落ち着いて行動していきましょう。

記

- 今後の部分登校計画について
 - 小学部1, 2, 6年生, 中学部2, 3年生の登校を実施することができました。感染予防対策の検証を行いながら、より安心安全な運営を目指します。次のフェーズが示されるまでは、一学年のみの、お弁当なしの午前中登校を継続します。それまでは、インターネットを活用した授業と並行して部分登校を進めて参ります。
今後の計画については今回の部分登校の結果を検討して6月8日（月）から再開します。対象学年についてはGメールにてお知らせしますので準備を宜しくお願い致します。
6月2日（火）～6月5日（金）につきましてはインターネットによる授業を実施します。
 - スクールバスの運用について
当面運行の予定はありません。徒歩もしくは自家用車、公共交通機関をご利用ください。
 - 夏季休業期間は進学を控えた児童生徒にとっては進路選択に向けた体験入学や進路先の情報収集等を行う大切な時期です。まだ帰国できる状況となるかわかりませんが、夏季休業期間中はできるだけ確保したいと思っております。
- 登校時の新型コロナウイルス感染症への対応における注意事項について
第六報をご参照ください。
- その他の確認事項（ベルギー当局の出口戦略による本校対応の変更点を含む。変更点にはアンダーライン。）
 - 児童生徒のみならず、保護者、教職員、教職員の家族から、新型コロナウイルス感染症が確認された場合は学校閉鎖を行います。本校関係者から新型コロナウイルス感染症をださない努力を皆で協力し取り組んでおりますが、万が一感染した場合は仕方ないことです。その時はお互いに助け合い励まし合おう。それが日本人学校の成員として当たり前のことと思います。必ず学校への連絡をお願い致します。学校は在ベルギー日本国大使館と文部科学省への連絡を行います。その場合の休校の期間は今のところは未定です。
 - ベルギー以外の感染者が発生している国（ベルギーより感染率が低い国・地域も含む）に本人が滞在していた場合は、ベルギー首相府声明内容に従い14日間の自宅待機をしてください。
15日目に発熱等の症状がなかった場合は登校できます。
本人以外の保護者、濃厚接触者が感染者が発生している国（ベルギーより感染率が低い国・地域も含む）に滞在していた場合、14日間の自宅待機を行う必要はありません。今後も、状況が変わった場合は再度検討しご連絡します。
 - 行事予定の見直し方針
様々な行事に関して延期または中止の見通しを示して参りました。PTA運営やPTA主宰行事についても同様です。
学校として、子供たちの将来について考えるとき、学力保障が最も大切な課題と認識しています。一方で他国にはあまり例のない、学校全体で取り組む運動会や合唱祭など日本ならではの行事は、他人を思いやる心、克己心、団結力、強い意志など子供たちの心を育むとともに、青春時代の思い出の核となるであろう大切な教育要素を含んでいると認識しています。

何とか実施できないかと検討して参りましたが、ここまで現状が長引きますと授業時数の確保等において見通しが明るくありません。そして、運動会を行うとなるとその準備や練習のためかなりの時間を使うこととなります。

欧州各国の日本人学校の動向も調べましたがいずれも現状は同じであり、さらにカリブソ競技場が再予約できない状況です。今回断腸の思いですが運動会の中止をご報告致します。残念でなりません、ご理解をお願い致します。

運動会を最高学年として経験することはリーダー性育成面などにおいて格別なものがありますが、運動会そのものは小学部や中学部で複数回体験できることではあります。しかしながら、小中学部サマースクール、小中学部修学旅行は一生に一度の経験となる可能性があります。よって、2学期実施が可能かどうかさらなる検討を進めて参ります。

□実施の検討：合唱祭（サンジュリアン教会での実施はできない見通しです）

□延期しての実施を検討：小中学部サマースクール、小中学部修学旅行

□中止を決定：運動会、PTA総会、全校朝会、児童生徒集会、外国語オープンクラス、授業参観、中学部進路を考える集い、小学部グリーンスクール、中学部ヨーロッパンスクール交流

(4) 本年度の評価（あゆみ）について

インターネットを使った授業や課題の提出について4月22日（水）から実施しております。このような学習活動の中で評価をしていくために必要な要素を観点別に検討しています。ご存じの通りですが、通常の学校運営とはいかない状況での評価となります。現状においては評価材料の乏しいことと、今後について、もうしばらくはこのような部分登校、インターネットによる授業や課題提供が続くことが予想されます。よって、通常の日程である学期ごとの評定をとりやめ、本年度に限りまして、進路選択に不利益がないよう特化した変則的な対応をとりまします。

受験生に不利益を与えないよう、一度目の評定は9月初旬（一番早い受験出願にあわせた日程）とします。これに合わせて小・中学部全学年の評定を行います。

本文書の最後に「中学校等の臨時休業の実施等を踏まえた令和3年度高等学校入学者選抜等における配慮事項について（通知）」一部抜粋を掲載します。日本国全体が本年度進路選択を控えた児童生徒に不利益を与えないようにするための留意事項を示しています。

また、第五報でお知らせしましたとおり臨時的教育課程編制方針としまして、①年間行事計画の調整（中止や期間短縮等）による、授業日数の確保②国語、数学、算数、英語、理科、社会、生活を優先して授業を実施（主要教科に関しては優先して教育課程の完全実施を目指す）としております。

(5) 小学部3、4年生の外国語活動と小学部5、6年生の外国語科について

外国語科の授業についてはいくつかの課題があり、実施が難しい状況です。小学部3、4年生の外国語活動と小学部5、6年生の外国語科の授業につきましては教育課程に位置づけられている学習です。学校再開後早急に進めていかねばならないと認識しています。さらにこの事態が長引いた場合の対応を鋭意検討しています。

(6) 英語検定について

英語検定につきましては当初一次試験が5月31日（日）に実施予定でした。英語検定については英語学習のモチベーションアップや将来の資格取得、キャリアアップなどにつながるものとして学校としても応援しています。

しかしながら3月末におけるベルギーの状況では、実施が困難であり中止を決定しました。4月14日に、英検協会の6月28日までの延期を決定しましたが（7月17日（金）、18日（土）、25日（土）の日程は補習校との兼ね合い等により本校では実施不可能）未だ、現状では申し込み数が不明であること、不特定多数の人を集めることができないこと、申し込み後に実施できないことがわかった場合の返金ができない可能性があること、実施にあたってのスタッフ確保などについて計画ができない状況にあることなど懸念材料があります。よって、受験生や担当職員の安全を十分に確保しながらの実施は難しいと判断し、残念ですが本校での実施は当初の予定通り見送ります。

なお、第二回英語検定は10月11日（日）に実施予定です。

(7) 本年度進路選択を迎える保護者児童生徒に向けた文部科学省総合教育政策局教育改革・国際課から発出の令和2年5月19日付け事務連絡において示された文書を参考のため引用します。「中学校等の臨時休業の実施等を踏まえた令和3年度高等学校入学者選抜等における配慮事項について（通知）」の送付について

- 1 中学校等の部活動等におけるスポーツ・文化関係の行事、大会の実績や、資格・検定試験等の成績を入学者選抜において評価する際には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため中止、延期又は規模縮小等となったこれらの行事等に入学志願者が参加出来なかったことのみをもって不利益を被ることがないよう、参加することが出来た他の行事等における実績・成績を評価すること等の措置を講じること。
- 2 入学者選抜において調査書を活用するに当たっては、中学校等の臨時休業の影響で、特定の入学志願者が出席日数や学習評価の内容等の記載により不利益を被ることがないようにすること。また、諸活動の記録や指導上参考となる諸事項等の記載欄を設けている場合には、当該記載が少ないことをもって、入学志願者が不利益を被ることがないようにすること。
- 3 地域における中学校等の臨時休業の実施等の状況を踏まえ、令和3年度高等学校入学者選抜等における出題範囲や内容、出題方法について、各実施者において、特定の入学志願者が不利にならないよう、必要に応じた適切な工夫を講じていただきたいこと。
- 4 各中学校等においては、進路指導をより一層丁寧に行い、志願先の高等学校等に係る入学者選抜の内容をしっかりと入学志願者に伝えることにより、不安払拭に努めること。

先の見通せない不安な状況が続きます。「励まし合い、高め合い、志し高く」の精神で乗り切って参りましょう。

○ この件に関してご不明な点は、担当までご連絡ください。

担当 岡田 真治 矢野千恵子 電話 日本人学校(02)672-1038